

可視化で見る自然災害との 付き合い方



国土交通省北海道開発局
事業振興部都市住宅課

1. はじめに

当局での可視化サイトの活用事例と普及活動

- ・自治体との打ち合わせ
- ・立地適正化計画の作成促進キャラバン
- ・都市計画担当者が集まる各種会議で話題提供
- ・可視化ポスターの掲示
- ・可視化サイトの動画紹介

4.立地適正化計画作成済み自治体との打ち合わせ

今年度は、立地適正化計画制度が創設され5年目！

- ◆立地適正化計画は5年に1度見直すことが望ましい
- ◆道内でも作成済み自治体のなかでレッドゾーンに居住誘導区域を含んでいる自治体もあった

可視化サイトの2次元主題図には、

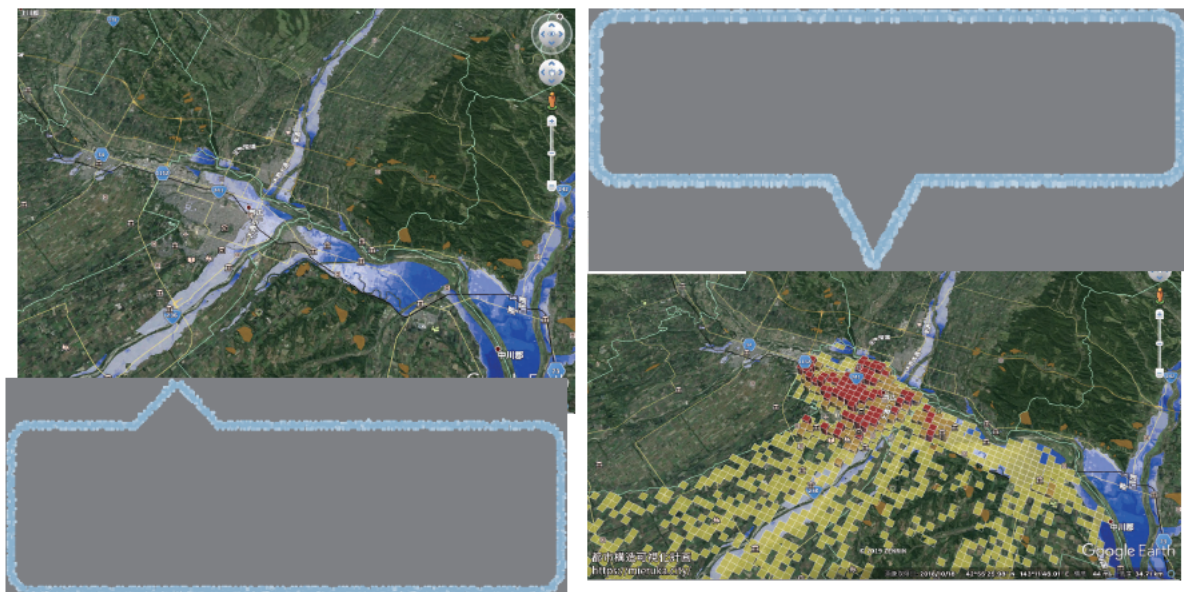
- ・都市地域
- ・用途地域
- ・DID人口集中地区
- ・土砂災害危険箇所
- ・土砂災害警戒区域
- ・河川浸水想定区域
- ・津波浸水想定区域
- ・バス勢圏
- ・駅勢圏 のデータが入っている！

立地適正化計画作成済み自治体との打ち合わせのなかで、可視化サイトを紹介



5.立地適正化計画作成促進キャラバン実施

キャラバン時の可視化サイトの活用事例



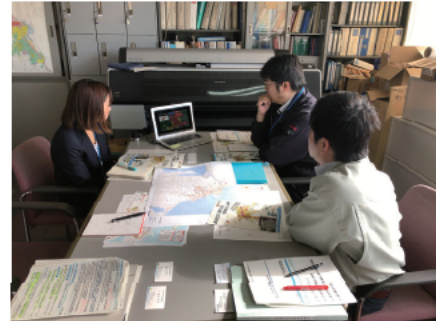
今までは人口の2次元データとハザードマップを見比べなければわからなかったハザードと人口分布の関係性が、可視化サイトを活用することで一目でわかる！

6.キャラバンを実施して

今後の課題(自治体からの意見など)

- ◆地理院地図に2次元主題図が反映されない
- ◆データが一部古いため、最新のデータにしてほしい
- ・住民説明会で使用できない

- ◆大規模盛土造成地のデータもあると良い
- ・昨今の災害で、大規模盛土造成地で災害が発生
- ・ハザードエリアだけではなく、大規模盛土造成地と居住誘導区域の関係性も把握することが重要



- ◆「可視化連絡会」があることを知らなかった自治体も・・・
- ・キャラバンで訪問し、初めて連絡会について知った自治体もあったため、当局で積極的に普及活動すべきだった

今年度の反省点を活かし、
来年度以降も可視化サイトの普及活動をすすめていきます！

民族共生象徴空間のご紹介

北海道開発局

民族共生象徴空間が2020年4月24日に
北海道白老町にオープン！！

